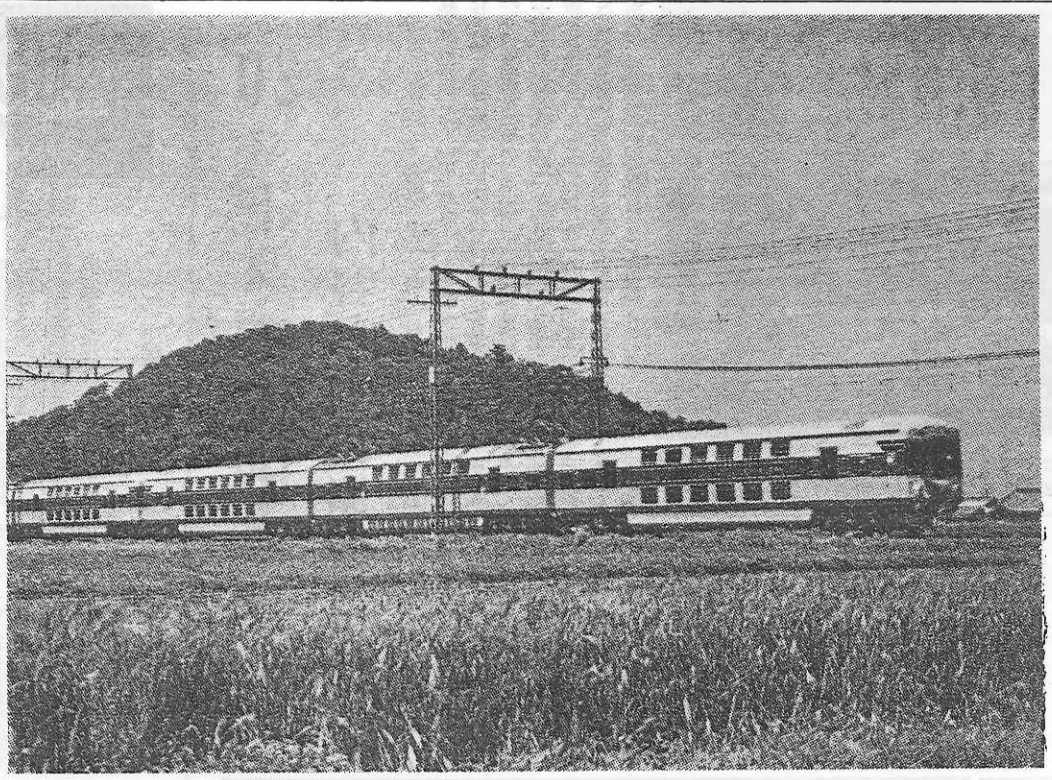
修学旅行新聞
発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 白濱末紀
東京都千代田区西神田2丁目8－7（幡ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337



写真・大和三山を行く近鉄の修学旅行専用電車〝あおぞら号〟。

修旅の補助金 満額近く獲得

五千四百円に 中学生

文部省 教育的意義を認めて

経済的に恵まれぬ小、中学生に対する四十四年度の修学旅行援助費は大幅にアップ、小学生は千七百円、中学生五千四百円と決定した。要求予算は小学生二千円、中学生五千七百円なのでその差は小中ともわずか三百円。この満額に近い予算獲得の陰には坂田文相、久保田政務次官ら首脳部や関係部局の懸命な努力があり、全員参加による修学旅行の完全実施を目指す文部行政に対して全教育界では謝辞をおくっている。

久保田 政務次官らの努力

四十四年度の要保護、準要保護児童生徒に対する修旅援助費については、交通費をはじめ諸物価の高騰で現行の小学生一千五百五十円、中学生三千六百六十円ではとうてい追いつかず、そのため文部省初中局では時勢に即応するよう小学生二千円、中学生五千七百円を要求することになった。しかし学用品費などのほか産炭地域特別措置費や僻地学校特別措置費が自自押しで、この要求額をはるかに下回わる数字が予想されてきた。

いよいよ予算編成の大詰めを迎えた一月八日、全修協山本種一理事長は文部省に久保田藤麿政務次官を訪ね、修旅費の増額を要望した。これに対して修学旅行の重要性を認める同次官は善処を約し、さっそく斎藤事務次官（当時）をはじめ天城初中局長（現事務次官）奥田中学校教育課長、徳山初等教育課長、岩田財務課長らと協議したが、文部省予算案としてはこれ以上の増額は認められぬと判断、局内の操作によって修旅費を捻出することになり、産炭地域特別措置費、学用品費、通学用品費、通学費の予算を削って修旅費に投入したもので、昨年度より一億三千六百八十八万九千円の増額である。なおこれには新設の校外活動費（遠足）小学生百円（要求二百六十円）中学生百八十円（要求四百三十円）も含まれている。

久保田文部政務次官

一九六九年にこう対処する

財団法人・全国修学旅行研究協会・理事長
山本種一

宇宙船が壮大な月周回旅行に成功して、地球人という意識を具体的なものにする人類史上の偉大な一ページをもって一九六九年を迎えました。

アポロ8号の飛行士が宇宙のかなたから「ふるさとなるアシス地球よ」とよびかけたこの地球は、いま激動の真ただ中にあります。

……○……

政治、経済、産業、文化、軍事など、内外における激しい流動がつづき、われわれは大きな変革の波のうねりにのっていることを強く感ずるものであります。

……○……

この重大な激動期、変革期に対処して、協会の使命を達成するため、どういう姿勢でこれと取組むべきか、深く考え果断な行動を用意しなければならぬと思う次第であります。

……○……

現代における科学技術の進歩は産業の構造を変え、流通情報の革命的変革をおこし、国力を左右するところまできております。

……○……

教育競争を生んでいるのであります。

……○……

わが国独自の教育形態である修学旅行が、かかる新時代を迎えていかなる役割を果し、いかにあるべきか。次元の高い観点にたって再検討し、新しいビジョンを確立すべきであると思う次第であります。

……○……

協会は昭和三十年多年教育界にあった同憂の士を結集して、日の当らぬところに押しやられていた修学旅行の教育研究と改善の事業を行ない、これを通じてわが国教育の進歩と民族資質の向上を念願して誕生したのでありますが、この時点において私は協会各位とともに、新時代に生きる協会運動の果敢な前進に挺身いたしたく決意を新たにする次第であります。

全修協の総会開く

2月6、7日 組織活動展開に備う

財団法人・全国修学旅行研究協会の活動は年を追って進展し、新時代に即応する修学旅行の教育的啓発に貢献しているが、組織活動を一層強力に展開するため二月六日（木）七日（金）の両日、新しく開館した東京コマ旅行会館で第十回通常総会を開くことになった。出席者は山本理事長ほか全役員、各支部長、関係協力機関など約百名が出席、本部提出の四十三年度経過報告、本年度事業計画案などを審議決定する。日程次の通り。

▽日時＝二月六日（木）午後一時―同九時、同七日（金）午前八時三十分―同十一時三十分）閉会

▽会場 東京都港区六本木一ノ七 東京コマ旅行会館（電）五八五一―〇四六

▽総会日程 第一日＝二月六日総会（午後一時―同六時）懇談会（午後七時―同九時）第二日＝七日総会（地区会議、総会まとめ）午前八時三十分―同十一時三十分

なお、役員会は五日午後三時から総会に先立って開かれる。

人事異動＝敬称略

△新任支部長▽

▽石川県支部長＝村池久一（金沢市議会議員）

▽兵庫県支部長＝魚谷時太郎（兵庫県議会議員）

▽佐賀県支部長＝菊池武貞（唐津市社会教育委員長）

△支部長代行▽

▽三重県＝藤森健（三重県公立学校職員互助会事務局長）

▽大分県＝貞池富夫（大分県教職員互助会事務局長）

▽鹿児島県＝山口貞一（鹿児島県職員互助組合専務理事）

▽群馬県＝小林伊安（群馬県学生協専務理事）

なお、前石川県支部長・長谷川耕蔵氏、前三重県支部長・森孝太郎氏は参与に。

▼五味一男氏（全修協山梨県支部長、自宅＝笛崎市竜岡町）昨年十二月二十四日付で県教育委員に任命された。

全修協だより

おことわり

本号は都合により一、二月号合併号として発行しましたのでご了承ください。

風紋

一九六八年十二月二十八日アポロ8号が、人類の歴史に偉大な一ページをひらいて月周回旅行から帰ってきた▼無限の蒼穹（そうきゅう）を仰ぎ、中空に輝く満月を見あげるとき、あそこまで人間がいってきたのだという、かつて味ったことのない感慨にうたれる▼宇宙の遠くかなたにあった月、人類五十万年の歴史において、かぐや姫の物語りのように空想の世界であった月が、われわれの手がとどきそうな身近かなものとなった▼三千八百トンといわれる巨大なロケットが、発射後数分で大空に点のように飛び去ったテレビの映像をみつめ、今更ながら科学技術の進歩と教育の人類史における役割に思いを新たにした▼今回の月周回旅行の最後の難関といわれた地球大気圏突入成功のチャンスは、五十万キロ先の小さな鍵穴に入るようなむずかしさであったという▼このチャンスを正確につかんで無事大平洋上の予定地点に着水した三飛行士の卓抜した知力精神力体力には全く敬服する▼回収母艦ヨークタウンの艦上にもどったボーマン宇宙船長は、その帰還第一声で「われわれ三人は、大きな月旅行計画の一部分である。われわれ三人の成功でなくこの計画に参加した多くの人々の成功である」と語った。これは、儀礼のことばでなくまことの実感であったと思う。実に味わうべくまた教えられることばである▼アポロ8号計画に動員された人数は七十万人と伝えられる。しかしこれは直接参加した人で、考えようによっては地球上の人類全員が参加したものだともいえよう。それにしてもこの計画の設計者の苦心はいかばかりであったか、とてもことばでいいあらわせないほどきびしいものであったろうと思う▼アポロが宇宙をひらく年を迎え、われわれは教育設計のあり方がこれでよいのか、大いに考えてみたいところである。

基準概要調査

本年も全修協で昭和三十四年以来、年次調査を行なってきた全国都道府県・修学旅行基準概要調査（四十四年度）が全修協調査研究部で行なわれることになり、このほど各都道府県教育長あてに調査を依頼した。一部の府県では全修協支部長が直接教委におもむいて調査することになっている。締切は一月三十日で三月には発行の予定。B5判十二ページで各都道府県教育委員会をはじめ各支部長、関係機関あてに贈呈されるが、希望者には実費で配布する。

修学旅行は学習効果向上のために

全船冷暖房完備の修学旅行専用船

わかば丸・ふたば丸

旅客定員805名・1,100トン

- 一般客との混乗がありません
- 船内での学習や研究ができます
- 海・船の社会科研究もできます

楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！

関西汽船

● お問合せは…大阪（441）9161

ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

充実した修学旅行

ツーリストをお役立てください

ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として〝修学旅行映画〟シリーズを製作しております。

●修学旅行映画シリーズ

奈良　京都　京都の庭園　富士箱根　日光　大和の国なか　大和の塔　火とみどりの国　瀬戸内海

（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）

電子計算機がおてつだいする ひまわり窓口 「登録第20号」

近畿日本ツーリスト

盛りあがる万国博

修旅は273万人

万博の入場者数について、万国博協会では三千万人と推定しており、そのうち学校生徒を最高二百七十三万人とみている。開催期まで一年あまりあるため、全国的には見学未定のところが多く、確実な数の把握は困難である。しかし昨年十一月一日から国鉄が万博見学団体輸送の受付を開始したことや、京都、大阪周辺における宿泊施設の早期確保の必要上から、東京都や関東各県の中学校ではすでに見学希望生徒数が決定し、引続き東海、近畿地区でも、見学希望生徒数が次第にまとまりつつあるおそらく三月から四月の新学期頃までには、北陸、四国、九州、東北、北海道の各地区もそれぞれ見学生徒数が明らかになるものと思われる。

一月現在における万博見学生徒数の確定と推定はつぎの通りである。

(一) 小学校の場合

万博を見学できる範囲は、修学旅行では東日本の一泊二日実施する関東や、北陸の一部に東の限界線があり、西日本では同様に中、大体この数は適当と思われる。

(二) 中学校の場合

従来から関西方面へ旅行している東日本の限界線は関東から北陸であり、西日本の限界線は、九州に近畿地区の日帰り圏の中学生八〇%見学するとして約五十万人を加えると合計百十万人が推定される。これに対し万国博協会では、中学生を約百十四万人と予想している。

(三) 高校の場合

関西方面へ修学旅行に来る高校生は、東日本では静岡、富山以東から北海道までの全域、西日本では鳥取、広島、山口、九州（大分、熊本を除く）地域からで、昭和四十二年度で約四十六万人となっている。万国博も参加するので、さらに五万～十万人が増加すると思われる。

これに近畿地区や北陸、東海、近畿及び周辺県から約二十万人が予想される。万国博協会では小学生を約五十万と推定しているので

わかくさ号など決める

四月に学校計画出揃う

近畿地区の日帰り圏の中学生八〇%見学するとして約五十万人を加えると合計百十万人が推定される。これに対し万国博協会では、中学生を約百十四万人と予想している。

(三) 高校の場合

関西方面へ修学旅行に来る高校生は、東日本では静岡、富山以東から北海道までの全域、西日本では鳥取、広島、山口、九州（大分、熊本を除く）地域からで、昭和四十二年度で約四十六万人となっている。万国博も参加するので、さらに五万～十万人が増加すると思われる。

これに近畿地区や北陸、東海、岡山、四国全県等の日帰り、一泊程度の高校生を約四十五万人とみて、合計約百万人が推定される。万国博協会では高校生を約百十万人と予想している。

(四) 学校児童生徒の入場者数

以上をまとめると、小学校五十五万人、中学校百十万人、高校百万人、合計二百六十五万人が児童生徒の総入場数の推定となる。万国博協会では最高を二百七十三万人、最低を二百十九万九千人と予想している。

会場への交通

(一) 電車の場合

大阪市内から会場中央ゲートまで、市営高速鉄道と北大阪急行電鉄が相互に乗り入れる。二分半の運転間隔の八両編成で、千百人を大阪駅から二十三分、新大阪駅から十七分で会場中央ゲートまで運ぶことができる。また阪急電鉄では五分間隔で七両編成九百八十人を、梅田（大阪駅）から北千里の会場西ゲートまで三十分で運ぶことになっている。

(二) 道路の場合

主要地点から会場へのコースは次の通り。

▽奈良

奈良―阪奈道路・生駒線―大東―近畿自動車道路・名古屋・大阪線、中央環状線―（会場東ゲート）

▽京都・大津

大津―名神高速道路―京都東―名神高速道路―京都南―名神高速道路―吹田（会場南ゲート）

(三) 高速道路の速度制限

(名神高速道路)―バス（八十キロ）(その他)―バス（六十キロ）

(四) 会場と最寄駅とのバス連絡

次のようにバスのピストン運転が行なわれる。

国鉄茨木駅―（二・二キロ）五分―会場東ゲート。

阪急茨木市駅―（三・五キロ）八分―会場東ゲート。

国鉄新大阪駅―（十二キロ）十八分―会場中央ゲート。

▽神戸・三ノ宮

神戸・三ノ宮―阪神高速道路―（会場南ゲート）

▽奈良

奈良―阪奈道路・生駒線―大東―近畿自動車道路・名古屋・大阪線、中央環状線―（会場東ゲート）

▽京都・大津

大津―名神高速道路―京都東―名神高速道路―京都南―名神高速道路―吹田（会場南ゲート）

(平岡)―築港平岡線―本町―御堂筋線―上新田―中国縦貫道路―（会場中央ゲート）

(道頓堀)―湊町―阪神高速環状線・大阪池田線―豊中―名神高速―吹田（会場南ゲート）

(新大阪)―御堂筋線―上新田―中国縦貫道路―（会場中央ゲート）

(天王寺)―阪神高速環状線・大阪池田線―豊中―名神高速道路―吹田（会場南ゲート）

▽神戸・三ノ宮

神戸・三ノ宮―阪神高速道路―（会場南ゲート）

▽奈良

奈良―阪奈道路・生駒線―大東―近畿自動車道路・名古屋・大阪線、中央環状線―（会場東ゲート）

▽京都・大津

大津―名神高速道路―京都東―名神高速道路―京都南―名神高速道路―吹田（会場南ゲート）

(三) 高速道路の速度制限

(名神高速道路)―バス（八十キロ）(その他)―バス（六十キロ）

(四) 会場と最寄駅とのバス連絡

次のようにバスのピストン運転が行なわれる。

国鉄茨木駅―（二・二キロ）五分―会場東ゲート。

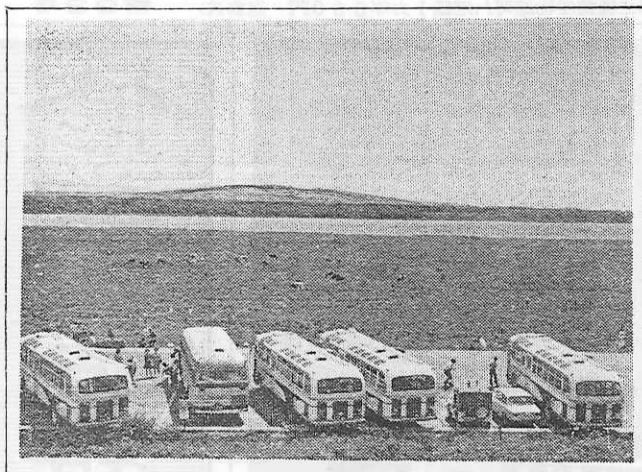
阪急茨木市駅―（三・五キロ）八分―会場東ゲート。

国鉄新大阪駅―（十二キロ）十八分―会場中央ゲート。

20コースで実施

研修旅行 内容も一新、期待に添う

本年度の教職員による第十三回夏期研修旅行はいよいよ七月二十五日ごろから八月二十日ごろまでのあいだ実施されるが、本年度は二十コースにふえたほか、内容も著しく改善されたことが特色。とくに研修行事は全修協本部で検討を重ね、教職員のため役立つことを第一目標とした。すでに全修協各支部をはじめ各協力機関がいっせいに募集を開始、早くも研修旅行は教職員間で大きな話題を呼んでいる。以下二十コースを順次紹介してみよう。（なお、期日、会費などは各学校へ配布するチラシを参照願います。日程中、―は鉄道、＝バス、～船、…は徒歩の記号です）



涛沸湖を望む　徳島　柏木喜一氏（43年度北海道研修旅行写真コンクール特選・カラー）

…北海道一周…

実施＝北海道を除く全地区。

日程＝【第一日】上野（一九・五〇）―（車中泊）―【第二日】―仙台―青森―函館＝立待岬＝函館山＝五稜郭＝トラピスト修道院＝湯ノ川泊【第三日】湯ノ川＝函館＝札幌＝北大、ビール工場＝月寒羊丘＝定山渓泊【第四日】定山渓＝札幌＝旭川＝上川農業試験場＝大函、小函＝層雲峡泊【第五日】層雲峡＝石北峠＝北見＝網走＝原生花園＝美幌峠＝砂湯＝川湯泊【第六日】川湯＝硫黄山＝摩周湖＝阿寒湖＝釧路―（車中泊）―【第七日】―白老＝登別＝オロフレ峠＝昭和新山＝洞爺湖泊【第八日】洞爺湖＝洞爺＝函館～青森―（車中泊）―【第九日】―仙台―上野（六・〇四）

…東　北…（A）

実施＝関東、北陸、東海

日程＝【第一日】上野（二三・四八、急行寝中泊）―【第二日】―新潟～両津＝大佐渡スカイライン＝佐渡金山＝鉱山博物館＝尖閣湾＝相川泊【第三日】相川＝佐渡博物館＝真野御陵＝両津～新潟港＝新潟＝会津若松＝東山泊【第四日】東山＝鶴ケ城＝野口記念館＝五色沼＝磐梯高原＝土湯＝浄土平＝福島＝飯坂泊【第五日】飯坂＝福島＝上野（一三・四四）―東京（一五・〇〇）―名古屋（一一・〇〇）―田口＝赤倉泊【第二日】赤倉＝直江津～小木＝真野御陵＝佐渡博物館＝佐渡金山、鉱山博物館＝尖閣湾＝相川泊【第三日】相川＝大佐渡スカイライン＝両津～新潟港＝新潟＝会津若松＝東山泊【第四日】東山＝鶴ケ城＝野口記念館＝五色沼＝磐梯高原＝土湯＝浄土平＝福島＝飯坂泊【第五日】飯坂＝福島＝上野（一三・四四）―東京（一五・〇〇）―名古屋（一一・〇〇）―田口＝赤倉泊【第二日】赤倉＝直江津～小木＝真野御陵＝佐渡博物館＝佐渡金山、鉱山博物館＝尖閣湾＝相川泊【第三日】相川＝大佐渡スカイライン＝両津～新潟港＝新潟＝会津若松＝東山泊【第四日】東山＝鶴ケ城＝野口記念館＝五色沼＝磐梯高原＝土湯＝浄土平＝福島＝飯坂泊【第五日】飯坂＝福島＝上野（一三・四四）―東京（一五・〇〇）―新大阪（一八・三〇）

ただし近畿、中国、四国、九州地区は大阪（二一・三〇、車中泊）―東京（七・〇五）―上野（九・一〇）となり、コースは同じ。いずれも健脚向き）

次号には「富士・箱根・伊豆大島」「里四・乗鞍」「能登・立山・飛騨路」「飛鳥・大和路」「伊勢志摩・紀州」「山陰」「四国一周」「瀬戸内・山陽」「壱岐・北九州」「種子島・南九州」「九州一周」「奄美諸島」「沖縄」「香港・台湾」を順次掲載いたします。なお都道府県によっては実施しないコースもありますからご注意下さい。

健脚向きに 尾瀬・日光

…奥　東　北…

実施＝北海道

日程＝【第一日】札幌―函館…青森―（車中泊）―【第二日】―仙台＝塩釜～松島＝平泉（中尊寺、毛越寺）＝花巻泊【第三日】花巻＝田沢湖＝秋田（市内見学）＝寒風山＝男鹿泊【第四日】男鹿＝八郎潟（干拓見学）＝大館＝大湯＝休屋泊【第五日】休屋～子の口＝奥入瀬＝酸ケ湯＝青森～函館＝札幌（以上は予定）

…佐渡・磐梯…（A）

実施＝関東

日程＝【第一日】上野（二三・四八、急行寝中泊）―【第二日】―新潟～両津＝大佐渡スカイライン＝佐渡金山＝鉱山博物館＝尖閣湾＝相川泊【第三日】相川＝佐渡博物館＝真野御陵＝両津～新潟港＝新潟＝会津若松＝東山泊【第四日】東山＝鶴ケ城＝野口記念館＝五色沼＝磐梯高原＝土湯＝浄土平＝福島＝飯坂泊【第五日】飯坂＝福島＝上野（一三・四四）―東京（一五・〇〇）―新大阪（一八・一〇車中泊）―【第六日】―博多

…佐渡・信州…

実施＝北海道、東北

日程＝【第一日】青森、秋田、盛岡、仙台の各地―新潟泊【第二日】新潟～両津＝大佐渡スカイライン＝佐渡金山、鉱山博物館、尖閣湾＝相川泊【第三日】相川＝七浦海岸＝佐渡博物館＝真野御陵＝小木～直江津＝赤倉泊【日】第四赤倉＝戸隠中社＝バードライン＝長野＝湯田中＝丸池＝志賀草津高原ルート＝白根山＝草津泊【第五日】草津＝沼田＝金精峠＝湯元＝戦場が原＝中禅寺＝華厳滝＝西参道（東照宮、輪王寺、二荒山神社）

…尾瀬・日光…

実施＝関東、近畿、中国、四国、九州

日程＝【第一日】上野（九・五五）―水上＝土合口（ケーブル）―天神平―（ケーブル）―土合口―水上＝沼田＝老神泊【第二日】老神＝戸倉＝鳩待峠…尾瀬ロッジ…竜宮小屋…下田代…三条の滝…長蔵小屋…三平峠…大清水＝鎌田＝丸沼＝日光湯元泊【第四日】日光湯元…湯滝…小田代ヶ原…戦場ケ原…竜頭滝…赤沼分岐～中禅寺＝華厳滝＝東照宮＝日光―上野（一七・一七）―東京（一八・二〇）―新大阪（二一・三〇）

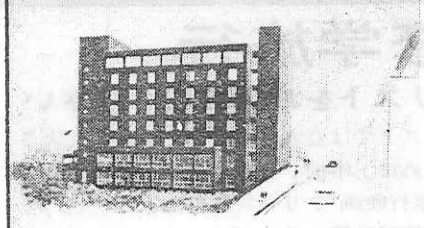
ただし近畿、中国、四国、九州地区は大阪（二一・三〇、車中泊）―東京（七・〇五）―上野（九・一〇）となり、コースは同じ。いずれも健脚向き）

次号には「富士・箱根・伊豆大島」「里四・乗鞍」「能登・立山・飛騨路」「飛鳥・大和路」「伊勢志摩・紀州」「山陰」「四国一周」「瀬戸内・山陽」「壱岐・北九州」「種子島・南九州」「九州一周」「奄美諸島」「沖縄」「香港・台湾」を順次掲載いたします。なお都道府県によっては実施しないコースもありますからご注意下さい。

高橋、前田両氏に

写真コンクール の北海道知事賞

研修旅行行事のひとつ、参加者による写真コンクールは一昨年から北海道知事賞も加わってますます人気を集め、毎年応募者が激増している。昨年度の全入賞者（推せん二名）（白黒、カラー各一）特選二名（同）入選四名（白黒、カラー各二）佳作三十名（白黒、カラー各十五）には既に賞状、賞金、記念品などそれぞれが贈られたが、北海道知事賞受賞者、北九州市高橋正氏には本部から郵送、また兵庫県の前田良男氏には一月十四日、午前十時から同県教委教育長室で全修協兵庫県支部長魚谷時太郎氏立会いのもとに、山本理事長から賞状と記念の楯を贈呈、入賞を祝した。【写真は北海道知事賞の賞状と記念楯】



昭和44年 1月 オープン

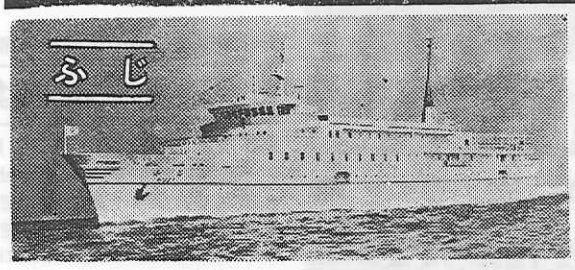
●〈ホテル〉東京コマ旅行会館は東京タワー・国会議事堂を間近に望む中心地にあり、地上8階建の近代ビルディングで、修学旅行の皆様により有意義なご旅行をしていただくために清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館であります。

TOKYO－KOMA－RYOKO－KAIKAN
ホテル〈全館和室〉
豪華で最新の設備

只今ご予約受付中！

東京 コマ旅行会館
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL(03) 585－1046(代表)

修学旅行は 日本最大の 豪華観光船で



みなさまのスケジュールで全国各地へご案内します。

■すぐれた船内設備
■動く海の教室
■安全性がたかい

大島運輸
東京支店　中央区日本橋通1－6(浅野ビル)
電話東京(273) 8911